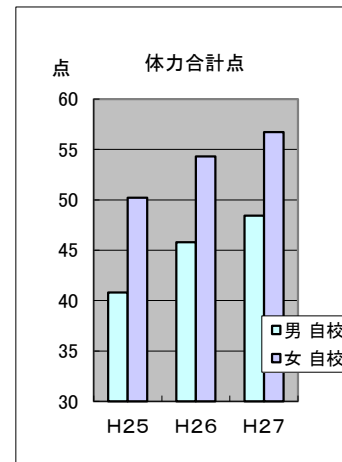
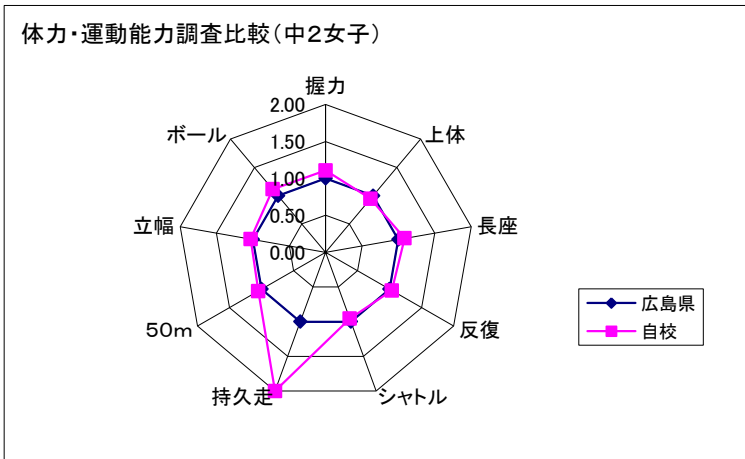
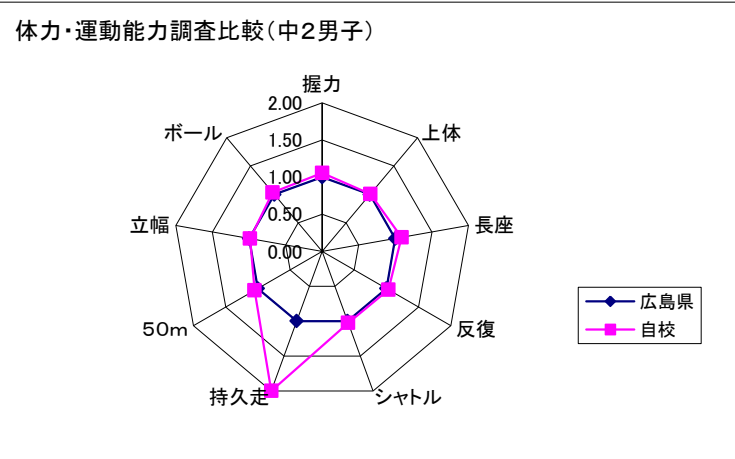


男子の体力合計点 学校48.43点 県平均 43.95点

女子の体力合計点 学校 56.73点 県平均 51.15点



H27体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

① 50m走(呉市の課題種目)  
 ・前年度と比較すると、1年男子と2学年と3年男子は昨年度より県平均を0.2秒以上上回っている。しかし1年女子と3年女子は下回っている。  
 ・多くの生徒がバス通学をしており、日常的に脚力が鍛えられていない。  
 ・スタートダッシュやピッチを意識して走るトレーニングを工夫する。

②立ち幅跳び(中学校区の課題種目)  
 ・前年度と比較すると、全学年男子は3cm以上県平均を下回っている。全学年女子は県平均を2cm以上上回っている。  
 ・日常的な運動量なども含めて、50m走と同様に脚力が鍛えられていない。  
 ・小中で連携し、共通の取組を設定し継続していく。

③長座体前屈(自校の課題種目)  
 ・前年度と比較すると、2年は全国、県の平均を3cm以上上回っている。他学年は、4cm以上下回っている。  
 ・男女ともに2学年以外の課題が大きいため、年間を通じて取り組み、記録の向上を図る。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走)	具体的な取組内容 ・保健体育科の授業で、準備運動や補強運動の中に、短い距離を速く走るための筋力を高める運動を取り入れる。 ・短い距離でのスタートダッシュや鬼ごっこなどの運動を取り入れ、ダッシュを意識的に用いた補助運動を工夫する。
②中学校区の課題種目 (立ち幅跳び)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・小中連携の中で、中学生の跳躍の仕方を小学生に提示し、正しい跳躍の仕方を示すことで、お互いの意欲向上を図る。 ・小中それぞれの委員会が各学校で中心となり、『K1グランプリ』を開催し、記録を競うような企画を行う。
③自校の課題種目 (長座体前屈)	具体的な取組内容 ・保健体育科の授業で、ストレッチの効果を理論的に指導し、準備運動の中に取り入れる。また、長期休業中にストレッチの課題を出す。 ・運動部活動の顧問と連携し、ウォーミングアップ時に、各競技に応じたストレッチを継続して行う。

---

※ 具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)